

普及現地情報

発信年月日：令和元年（2019年）8月19日
所属名：甲賀農産普及課
番号：C19020
部門分類：110（作物）
発信者名：竹若

小佐治もちの改善に向けて穂肥現地研修会を開催

甲賀地域特産物の一つである、滋賀羽二重もちの品質向上をねらいとして、甲賀町小佐治地域のもち穂肥現地研修会が、7月25日に開催され、約15人が参加しました。

研修会では、まず、モデルほ場の幼穂を確認して、自分のほ場と比較しながら穂肥の施用時期を検討されました。

次に、実需者から「最近の小佐治のちは、以前のものより硬くなっている。」との指摘があったことを受け、改善方策を検討しました。

検討会では、まず地元から、昨年度の穂肥の施用量と倒伏度の関係について説明があり、また、昨年度の畔際の水稲が、夏季の高温で障害を受けたことを受けて、水管理の改善についての提案がありました。当課からは、昨年が不作になった要因と今年度の気象概況等を説明しました。

農家からは「昨年度のようなことがないよう、特に畔際に水が行き渡るように気をつけたい。」「もちの粘度をあげるには、微量要素を増やさなければいけないと思うので、土づくり資材の検討をしたらどうか。」等活発な意見が出され、充実した研修会となりました。

当課は、今後も良質なもちが生産できるよう、関係機関とも連携して現地指導等を行います。



現地研修会に参加したみなさん



より良いモチづくりを検討しました